

福祉文教常任委員会協議会会議録

| | |
|-------------------|--|
| 1 開会日 | 平成24年4月13日 午後 1時30分 開会 午後 3時20分 閉会 |
| 2 場 所 | 第1委員会室 |
| 3 出席委員 | 竹内恵美子委員長 鈴木京子副委員長 二宮加寿子委員 三澤龍夫委員 吉川重雄委員 関 威國委員 渡辺順子委員 |
| 4 傍聴議員 | 奥津勝子議員 片野哲生議員 高橋富美子議員 高橋英俊議員 坂田よう子議員 清水弘子議員 |
| 5 説明員 | 中崎町長 二挺木首席理事 依田教育長 福島理事 森田政策課長 大隅子ども育成課長 二挺木保険福祉課長 小瀬村副技幹 佐野スポーツ健康課長 瀬戸副主幹 熊澤主査 |
| 6 職務のため 出席した職員 | 局長 飯田 隆 書記 山口芳弘 |
| 7 協議等の事項 | (1) 大磯小学校体育館耐震診断結果及び今後の対応について (2) その他 ・国府小学校プールの施設開放について |
| 8 その他 | 一般傍聴 なし |

○協議会の議題に入る前に次のような意見があった。

問. 議会と町側の紳士協定で資料配布は、1週間前ということになっているが本協議会資料が昨日5時過ぎに届いた、これはきちんと期限を徹底して守ってもらう必要がある。シルバー人材センターのことも資料が出て来なかったこともある。職員への指示をどう考えているのか。

答. 返す言葉もない。お詫びする。今後は計画性をもってきちっと出していく。

(1) 大磯小学校体育館耐震診断結果及び今後の対応について

昨年の9月補正で承認された大磯小学校体育館の耐震診断の結果がここで確定したので、その経過、現在の措置状況、今後の対応について担当課から説明があった。

◎主な質疑

問. 速報値では0.75確保であると、しかし第3者判定でIs値0.5のところがあるといくことだが、どのような措置をしたら0.75確保できるのか、また誰が考えたのか。

答. 岸設計に補強案を出させている。耐震診断は岸設計に委託しており、診断結果が悪かった場合の補強案も検討しなさいということで契約している。

問. 学童保育の学童の具体的な安全確保策は。

答. 1、2階、室内は安全と確認できている。地震の時は室内にいるようにとか。またALC板の落下が想定されるので、その場所に近寄らないとか、そこで遊ばせないとかするよう指導員に安全確保させている。

問. 耐震診断を業者に依頼するにしても同時進行で第3者判定する組織と図面の段階から協議できるのか。

答. 第3者判定機関に申し込みをすることになる。その時に耐震補強方法を設計事務所が判定機関へ提出して、そこで判断をもらう。そこで修正を受けると直す。それを数回繰り返し、固まってくる、これに2、3カ月かかり、平行して進めるのは難しい。

問. 9月補正で体育館の耐震診断した理由。岸設計に委託した結果はどうだったのか。第3者判定機関とは何か。

答. 東日本大震災があったこと、前回の耐震診断が古いものであったこと、また体育館の改修計画もあることから行った。

第3者判定機関に出す前に岸設計では速報値で0.79と出て来た。その後第3者判定機関のほうで3階の鉄骨溶接部分についての考え方で岸設計と認識の相違があり、最終的には岸設計の報告も0.5となった。

第3者判定機関とは、既存建築物耐震診断改修等推進全国ネットワーク委員会に登録されているもので、外部の学識経験者を複数名有する機関で町の方で指定している。今回はミーズ設計連合協同組合である。

問. 4月3日の入学式が家庭課室に変えたことについて、学校側とか、保護者とは事前にそのことをきちっとやったのか。

答. 資料にもあるが3月30日に学校長と会場変更について協議した。

問. 岸設計、第3者判定機関への金額は幾らか。

答. 岸設計は税込み183万7,500円、ミーズ設計連合協同組合は26万2,500円。

問. 学童は体育館の一部を使っているがそのままでもいいのか。学童も体育館を使う生徒も一緒である。命はお金に替えられない。

答. 学童のことで議論は出た。空き教室、幼稚園、中学校等と候補を探した。またプレハブは財政的なことがある。場所は探しているが早急に決定しなければいけないものと考えているので、町当局と相談しながら決定していきたい。

問. 全体の流れが9月に補正を出したのは、4月の段階で予算に組むためにやったのではないのか。

答. 今回9月に補正し、当初から耐震結果は3月に出てくる。その内容によって必要ならば補正で対応するといった当初の計画で進めている。

問. 体育館の安全確保は具体的にどのようにしているのか。

答. 学校長と協議しながら聞き取りもやっている。今は体育館に上らないように通行止めをしている。子どもたちが近付かないように目立つような形でやっていきたい。

問. ここは指定避難所になっている、その対応はどう考えているのか。もし災害が起きたらどこへ避難するのか。

答. 体育館が指定避難所とともに学校があるので、教室、学年スペースを避難所として開放していくようになると考えている。

問. 予算措置をして早急にやっていかないといけないが、この工程表だと再来年の7月ぐらいまでかかるとあるが、保護者の心配もあり、スケジュール的なものは固まりつつあるのか。

答. 一日も早く再開したい気持ちがある。最短では補強設計を予備費でお願いして、9月議会で工事費を補正し、入札して9カ月の工事期間をみて、完成は25年9月。もう一つは臨時会で設計委託を認めていただく形となり、約3週間くらい遅れる。完成は25年の2学期に入るのでと考えている。ALC板のこと、雨漏り、照明が暗いなどあるので合わせて最低限の改修は行いたいと考えている。

問. 予備費の執行を望んでいるようだが、全町民にアピールする意味でも臨時議会を開催し、十分な説明をする必要性があると思う。保護者だけの問題ではなく、避難所の位置付けもあるので。

答. 一日も早くやりたいので、予備費対応も考えたが、今日の協議会で臨時議会というお話しをもらったので、至急日程を調整して臨時議会を開いていただき補正対応で進めていきたいと思う。

問. 岸設計はこの耐震診断に関わっているし、状況も把握していると思うが、随意契約はできないか。

答. それも視野に入れ、財政当局とも検討する。

問. 例えば雨漏り対策等も一緒にやると、どのような設計になって、概算工事費はどのくらいか。

答. あくまで概算だが外壁補強を耐震に含めて約 3,800 万円、それ以外の改修部分が約 3,400 万円で合計 7,200 万円となる。

(2) その他

・国府小学校プールの施設開放について

今年 7 月からのプール開放について、対象者は町内在住者、利用料は無料、学校敷地内の車の駐車は禁止とする等のスポーツ健康課から説明があった。

◎主な質疑

問. 入場者は町内在住者とあるが、町外の子どもの友達、親戚が来た場合はだめか。

答. 24 年度は初年度なので次年度以降見直しが出てくると思うが、運用の中でやっていく。余り緩くすると対象がどこまでも広がってしまうことも考えられるので今後の課題として検討する。

問. 氏名、住所記入とあるが、批判出ると思うが。

答. 対象者のことは PTA と話し合い、児童・生徒のみとした、今後は考える必要あると思うが、この形で認めて欲しい。

問. 管理上の規則は作るのか。

答. 開放の規則は作成する。議会へは情報提供する。また要領も作ってプールに掲示したい。

問. 他の人の意見を聴いているか。

答. PTA 役員、グラウンド利用団体代表、町内利用団体 48 団体、教育委員、スポーツ審議会にも諮り了承もらった。また学校の校長始め教員、PTA 新役員にも説明した。周辺の方にも話し合いをしていきたい。

・その他

問. 給食食材の放射線測定器を真鶴町では購入した。町は県のもので対応するのか。

答. 県で購入したものは厚木に設置する。5月末に入り6月頃にできるようだが、詳細は不明である。平塚市は個別に検査機関に依頼している。

意. 真鶴町では150万円ぐらいのものを購入したと聞く。評価している。母親の給食への不安、将来のこと、町としてしっかり取り組んでもらいたい。

問. 放射能問題で修学旅行を日光とすることは、どうなっているのか。

答. 二宮町と下見に行った。保護者には日光で実施することで回答している。

○この後、自由討議となり、次のとおり決定した。

- ①真鶴町に食材の放射能測定器を視察することに決まる。
- ②臨時議会を開く方向で議運において検討してもらう。